

会員各位

本大会での感染予防策につきまして

会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

同封のプログラムでご案内の通り、準備委員会で検討を重ねました結果、今大会を対面形式にて行うことと致しました。開催にあたり、本大会での感染予防策についてご説明申し上げます。

1) 自動換気・湿度管理システム

会場となる名城公園キャンパスの校舎内は最新の機械換気システムを備えており、その働きによって1時間に5回、室内の換気が行われます。このシステムにより、一般的な病院に近い換気量が実現されています。また、湿度管理システムにより、室内の湿度が年間を通じて50%程度に保たれています。室温が20℃・湿度が50%に達すると、インフルエンザウィルスの9割が死滅することが過去の調査で明らかにされており、その点では安全な環境が保たれていると言えます。(詳細は本学公式ウェブサイト https://www.agu.ac.jp/news/eco_campus.pdf をご覧ください)

2) 消毒液・非接触型体温計の設置

校舎の入口には、消毒液と非接触型体温計が設置されております。学会開催期間中は各会場にも消毒液を配置いたしますのでご利用下さい。また、会場内では念のためマスクを着用いただくよう、お願い申し上げます。

3) 使用教室

会員総会、統一論題、課題研究委員会報告などが行われるメイン会場の収容人数は、過去の対面式開催時の平均参加者数の約2.4倍です。例年同様の参加者数であれば、収容率は約4割となり、相互に十分な距離を取ることが可能です。

4) 飲食を伴う懇親会の中止

大学施設内における立食型の懇親会については、準備委員による衛生管理が難しく、残念ながら断念致しました。ホテル等での開催も検討致しましたが、金額面で難がある上、着席での食事となり、「学会での懇親」の意義が薄れる結果となります。残念ながら、今回は懇親会を見送ることと致しました。どうかご容赦下さい。代替案として、比較的短時間で安全に実施可能な懇親イベントを企画しております。

以上の対策が、皆様に安心してお越しいただける一助となれば幸いです。

令和3年8月吉日
第9回大会準備委員長
愛知学院大学 平賀 正剛